



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート

前期が終了しました！

瞬く間に、入学式から4ヶ月が経ち、前期が終了しました。週に10コマの講義を経て、待っていたのは、レポート！！夏休みはいつやってくるのか・・・と奮闘しながら「学ぶ意欲」とは何であるのか、「学力」とは何であるのか等を探究していきました。無事レポートを提出し、「さあ、夏休み！！！」とはならず、9月以降の実習に向けての準備が本格的に始まりました。

「探究実習中間発表会」が行われました！

8月2日(火)、9日(火)に、探究実習中間発表会が行われました。各自の2年間を通した研究内容とその方向性に関する発表を行い、質疑応答や先生方からのアドバイスを受けました。これから何を研究し、何を探究していくべきかが、明確になったと実感しました。この発表会を通して、9月以降に始まる実習での目的も明確になった有意義な2日間でした。

前期の授業の紹介 (3 コース共通必修科目のみ)

科目名 (担当教員)	授業内容概略
現代的な学力観と授業実践の基礎と課題 (岡先生、佐長先生)	戦後以降の教育課程を中心にさまざまな事例をみていきました。時代背景により変遷していく教育論や教育の在り方を知ることで、教育そのものや学力とは何かについて深く考察しました。
教職キャリアデザインの基礎と課題 (中島先生、上野先生)	教員にとってのキャリアとは何かを理解し、自らの学校における役割を、採用から退職までを追ってデザインしていきました。これからの教員人生とともに自分の人生設計を見つめるよい機会となりました。
教育経営の基礎と課題 (平田先生、中島先生)	5領域15事項に分類された近年の主要な教育経営に関わる改革を講義や院生の発表を通して学び合いました。日本や諸外国での教育経営改革について深く知ることで、教育を多面的に捉えられるようになりました。
子どもの学ぶ意欲の基礎と課題 (大元先生、真子先生)	各自の教育観を一度“アンラーン (unlearn)”しながら、「学ぶとは何なのか」「意欲とは何であるのか」ということを探究していきました。「学ぶ意欲」について心理学的側面から考察することに苦戦しました。
特別支援教育の基礎と課題 (日野先生、松山先生)	講義や院生自らが様々な疑似体験を通して、「個に応じた教育的支援」の在り方を考えました。「どのような場面でどのような困難さが子どもたちにあるのか」を理解、想定し、支援することの大切さを感じました。
授業づくりと学級経営の基礎と課題	Q-U理論を中心に、学級経営の方法や授業づくりについて学びました。現職教員は、各自の学級経営や授業の実践事例を紹介し、自らの実践を返る良い機会となり、今後の資質能力の向上に資する講義でした。



8月24日(土)に、佐賀大学教職大学院初の教員向け研修講座が開かれました。院生も参加しました。実践的な授業づくりや子どもの支援の在り方について学ぶことができました。